

本学との学術交流協定締結校の紹介



성신여자대학교

誠信女子大学

(大韓民国)



(Sungshin Women's University)

交流協定締結年月日：2011年2月21日 主管学部：教育学部



ソウル市内キャンパス



卒業・修了制作展に参加



国際交流の特色（大学紹介）

誠信女子大学は1936年誠信女学校として設立され、1979年に誠信女子大学と改名し、1981年には総合大学に昇格した。現在は「造形大学院、情報産業大学院、教育学大学院、人材資源経営大学院」の4大学院、「人文学部、社会科学部、自然科学部、人間環境学部、師範学部、美術学部、音楽学部」の7つの学部、附属高校、語学センター、博物館など11の研究所と13の付属機関から組織されている。誠信女子大学は師範学校から出発していることもあり、その校風は作法・礼儀を身に付けることを尊重し、現在に至るまで受け継いでいる。学部は女子のみであるが、大学院は男女共学である。キャンパスはソウル市内に有り交通の便も良い立地条件である。

交流実績（平成21年度～23年度）

2001年の協定締結以来、交流実績は先方から2名、当方から1名の短期留学生、加えて先方からの1年間研究滞在教員が1名となっている。2011年度には香川大学から1年間留学を予定している学生もいる。2011年2月からは全学交流協定を締結し、今後は両大学間の幅広い分野で交流が期待されている。研究者交流は継続して行われており、安東恭一郎教授が、2006年からほぼ毎年、韓国で開催されている韓国美術教育学会に参加し、研究交流を継続的に進め、意見交換を行っている。



教員からの声

美術学部では多少の言葉の不自由さがあっても制作を通して留学生活ができる強みがあります。ソウルの元気いっぱいの学生の中で自分を置いてみることできっと新しい発見があります。

2011年2月から全学交流協定を締結しましたので、皆さんの関心のある学部やコースに留学できるようになります。詳しい留学情報について気軽に相談して下さい。

学生からの声

僕は、誠信女子大学で1年間、西洋美術を専攻しました。初めに、どうして男子が女子大に通えるのかと指摘がありそうですが、交換留学生は大丈夫です。門に入る時には少し目線が痛いですが、すぐに慣れます。授業は韓国語が主なので少し大変ですが、日本語ができる教授や英語の授業もあるので、美術専攻で留学した身としてはすごく勉強になりました。韓国はおいしいものが沢山あります。学校の近くにある食堂に入れば、ピビンパやユッケジャンがとても安い値段で食べられます。また、大学はソウル市内にあるので、周辺には楽しめる場所が沢山あります。まず退屈しません。他にも、近いけど違う韓国という文化を生活を通して肌で感じることができ、とても新鮮で面白いので、是非興味がある方は来て見てください。

(2010年度留学学生)

誠信女子大学

(Sungshin Women's University)

ホームページ <http://www.sungshin.ac.kr/>

●学部学生 13,000人 ●教職員 680人 ●大学院生 250人